

大学の 仲間たち



和名 ナガサキアゲハ
学名 *Papilio memnon thunbergii* von Siebold
英名 Great Mormon
目 チョウ目
科 アゲハチョウ科
開張 94～113mm

ナガサキアゲハ

チョウの中では大型であるのはアゲハの仲間であるが、このうち本学構内で見られる黒いアゲハを二種紹介した。これらはいずれも後翅の後端が尾のように突出しており、これを尾状突起という。今回のナガサキアゲハはこの尾状突起をもたないで他種との識別は容易である。日本では最初に長崎で発見され、この名をもつことから想像できるように本来は南方系のチョウであり、南西諸島、九州、四国、紀伊半島南部から知られていたが、温暖化にともない、京阪神の暖かい地方でも一九八〇年ころから定着したらしく、内陸部でも時々発見されるようになっていた。本学構内で詳細なチョウの研究を行った一九九三年には本種は見つかっていない。しかし、二〇〇〇年以降二、三回構内で飛翔を目撃した。今年は七月十四日の夕方に山田ホールで行われた教職員の歓迎会の会場内を飛んでいた。幼虫は栽培ミカンやカラタチを食べるので、すでに奈良盆地北部でも定着している可能性が高いが、本学構内にはこれらの樹木はないので、残念ながら繁殖していないであろう。

(自然環境教育センター長 前田喜四雄)



奈良教育大学 広報誌

第19号 平成16年12月28日 編集／広報・情報公開委員会 発行／国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 ☎0742-27-9296 ☎0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp/home-jp.htm>